



— 阿蘇神社（旧村社）—
御祭神 健磐龍命（たけいわたつのみこと）
阿蘇神社 <http://asojinja.jp/>



平成20年11月1日

第 43 号
発 行 所
阿蘇神社社務所
多良見町化屋862
☎ 0957-43-5235

御 通 夜 祭

阿蘇神社
宮司 大島 大明

陰曆十月を神無月と云います。
神様が出雲に出発される祭り「神
送り」は耳にしませんが、神様が
出雲より本社に帰つてくる日には
「神迎え」の祭りや行事が全国的
に広く行われているようです。

阿蘇神社では、この「神迎え」
を御通夜祭（おとゆやさい）と云いま
す。日没から翌日の日の出まで篝
火を焚き、氏子等が神社に籠もり
夜を徹して神様のお帰りを待つこ
とから「御通夜祭」と称します。

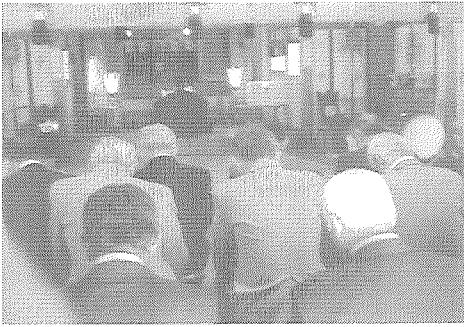
近年は時間を短縮して行われてい
ますが、神様の帰りを待ちながら
親睦を深める地区的伝統行事とし
て行われています。

因みに出雲の国では、陰曆十月
は日本中の神々が出雲に集まるこ
とから、神在月（かみありづき）と
云い、十日の夜、砂浜に後神火を
焚き、神迎えの神事が行われます。
出雲大社では翌一日から十七日
迄が神々の会議が行われる「神在
祭」の期間となつてているようです。

敬 神 生 活 の 綱 領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大
平を開くの基である。
神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類
の福祉を増進するは、使命を達成する所衣である。
ここにこの綱領をかけて向かふところを明らかにし、実
践につとめて以て大道を宣揚することを期する。
一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、
一、世のため人のために奉仕し、
神のみこどもとして世をつくり固め成すこと
一、大御心をいただきてむづび和らぎ、
国の隆昌と世界の共存共榮とを祈ること

平成二十一年 阿蘇神社例大祭を終了!!



一宮司による祝詞奏上一

去る十月十五日、阿蘇神社の例大祭が斎行されました。阿蘇神社は天文三年(西暦一五三四年)の秋熊本県一の宮の御本社阿蘇神社より御分靈を受け喜々津の守護神として祀られました。例祭は神社が鎮座した記念日であり、因みに今年は御鎮座四七四年となります。

定刻宮司以下祭員が参進、祭典が斎行されました。御本殿の御扉を開き、神饌とともに神社本庁よりの幣帛料、長崎県神社庁よりの玉串料も神前に供えられました。

宮司が御神徳の感謝と更なる御加護の祈願の祝詞を奏上、次に巫女が神樂舞を奉納、次に宮司以下の参列者の代表が玉串を捧げ拝礼を行い例祭を終了しました。

例大祭に際し左記の通りご献納を賜りました。ご芳名を記しお札を申し上げます。《順不同・敬称略》

☆初穂料☆

多良見町商工会理事 松尾一彦、森山 仁、㈲森商会・森 誠司、誠会 相良信義、多良見漁協組合長 岩崎征忠、㈲森開発 森 強、

恵風園 松本 淳、北島守幸、中村和廣、前川 功、寺田照巳、犬塚 實、石丸隆男、山田豊明、坂口勝明、木下 剛、森 藤男、白石幸男、松崎章雄、山中征二、内田克夫、前田信太郎、吉野 徹、

松尾龍義、松山弥八、大久保治賢、宮嶋 博、松尾清人 以上
☆献酒☆
十八銀行多良見町支店長・松永徳治、親和銀行多良見支店長・前田圭介 以上

◇伊勢神宮と式年遷宮について◇

三重県に鎮座する伊勢神宮は全國の神社の本宗と仰がれ、「お伊勢さん」「大神宮さん」とも云われています。皇大神宮(内宮)には天照大御神、豊受大神宮(外宮)には衣食住の守護神とされる豊受大御神をお祀りしています。

皇大神宮(内宮)にお祀りされています天照大御神は、皇室のご祖神であり、また日本人の総氏神として慕われています。

一般的に伊勢神宮と云われますが、正式には単に「神宮」と称します。神宮には、内宮・外宮を中心として大小百二十五の社が祀られており、國家の繁栄と国民の幸福とを祈る祭りが日々行われています。

式年遷宮は約千三百年前に天武天皇がお定めになり、持統天皇四年(西暦六九〇年)に第一回のご遷宮が行われました。戦国時代など延期をしたことがあります、二十年ごとに式年遷宮が行われてまいりました。先の大戦までは「国家の重儀」として国費をもつて行なれておりましたが、戦後は広く全国民に呼びかけ、净財募金を行なっております。今回は六十二回目の式年遷宮となります。

二十年ごとに御社殿・調度品などを全てのものを同じように作り替え、神様をお遷し奉ることにより、常に新しくみずみずしい御神殿で永遠に変わらぬお祭りが行われることとなります。

第六十二回式年遷宮は、平成二十五年の秋(十月)に斎行されます。

阿蘇神社でも淨財の募金活動を行うこととなりました。氏子崇敬者皆様方には、時節柄ご出費多端のことと存じますが、ご高配を賜りますようお願いを申し上げます。

神社拝殿内、社務所に募金袋を用意しておりますので、ご参拝の折ご厚志を賜りますよう伏してお願いを申し上げます。

一伊勢神宮

奉納相撲大会終了!!

去る九月十四日に恒例の奉納相

撲大会が開催されました。台風の九州接近で前日まで雨が続き、開催を危ぶむ声もありましたが、「阿蘇神社の相撲大会は雨が降らない」と云われるよう、今回も相撲大

会が終了するまで、持ちこたえてくれました。神様の御加護に感謝するのみです。

今年も町内外より多くの子供が参加し、地区対抗戦・町対抗戦・学年ごとの個人戦・抜き相撲などが行われました。

当日の成績は以下の通りです。

▼地区対抗戦

優 勝 市 布
準優勝 木床 A

▼個人戦

◇一～二年生の部
優 勝 前田知貴(市布)
準優勝 今井ちかと(木床)

◇三年生の部
優 勝 小川達也(西川内)
準優勝 木下朝陽(西川内)

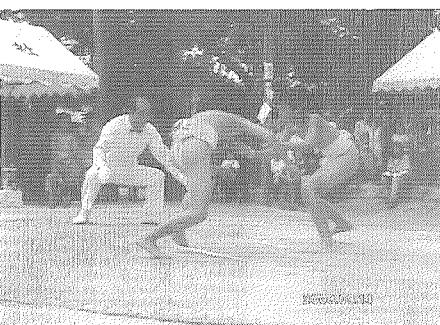
◇四年生の部
優 勝 前田光貴(市布)
準優勝 出田亮介(西川内)

◇五年生の部

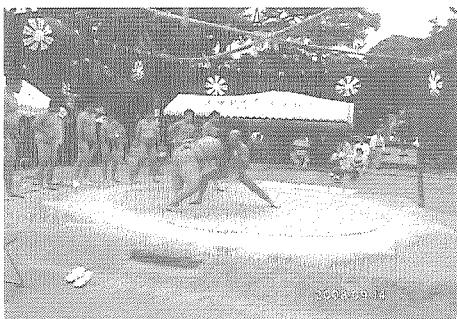
優 勝 山崎翔平(木床)
準優勝 松尾拓郎(中里)

◇六年生の部

優 勝 木嶋太貴(木床)
準優勝 立川幹也(木床)



—熱戦が続いた子供相撲—



—諫早農高相撲部の取り組み—

平成二十年度
田祈禱祭終了

平成二十年の田祈禱祭が、去る六月二十七日に斎行されました。

田祈禱祭は、旧諫早藩で行われている祭りで、嘗ては田植えが終わった地区毎で祭りを行い、田の水口に御幣を立て秋の稔りを祈りました。喜々津地区では農協が祭主となり喜々津地区全域の田植えの終了を感謝すると共に、米を始め野菜・果物など、作るもの全てに御加護をいただき、秋の豊作を祈念しました。

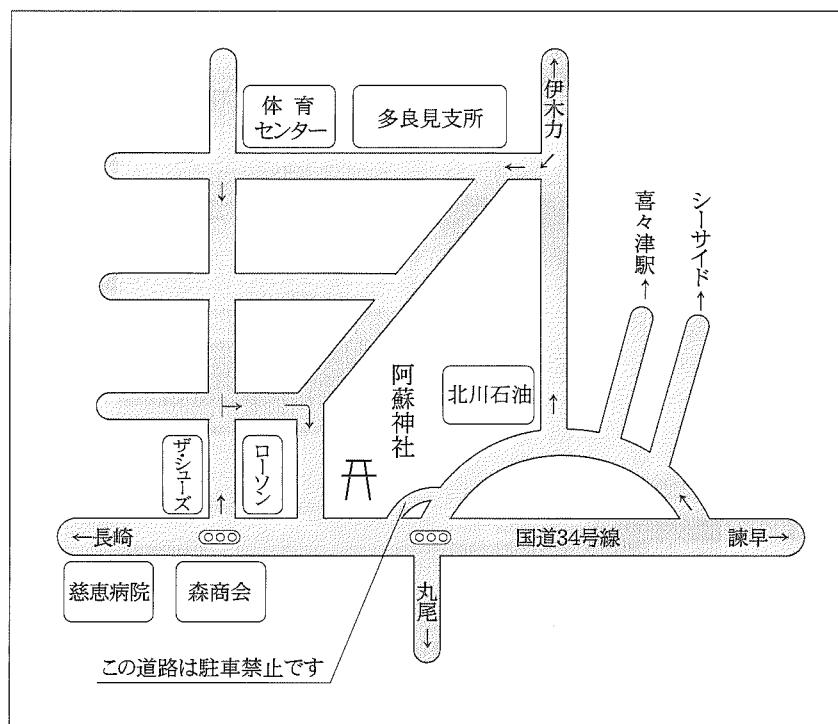
当日は宮司が感謝と祈念の祝詞を奏上、参列者の代表が玉串を捧げ礼を行いました。社務所での直会が終了すると、参列者は御幣を持ち帰りそれぞれの地区の水田に差し立てました。

今後とも伝統ある阿蘇神社の相撲大会が継続されますよう、ご理解とご支援を宜しくお願ひ申し上げます。

○祝祭日には国旗を掲げて祝いましょう!!
○神棚には毎年新しい御神札を祀りましょう!!

七五三詣は阿蘇神社へ!!

男女三才を『髪置』、男児の五才を『袴着』、女児七才を『帯解』または『紐解』と称し、いずれも子供の健やかな成長を願う行事です。ご家族お揃いでご参拝下さい。



平成二十年の七五三祝 数え年

男	三歳	平成十八年生
女	五歳	平成十六年生
男	七歳	平成十四年生

◆十一月九日(日曜日)、十五日(土曜日)、十六日(日曜日)の三日間は終日七五三を受け付けます。これ以外の日のご参拝予定の方には、出張祭典などで留守をするともございますので、お手数ながら事前に連絡をお願いいたします。

S総代会便り

◇定例評議員会開催

平成二十年度の阿蘇神社評議員会は六月日に開催されました。評議員会で予決算書及び行事計画が承認されました。また今年度の監事が左記の通り選任されました。

上 市 白石 幸男 氏
丸尾一区 木下 刚 氏

◇第一鳥居の改修工事

第一鳥居は地下の古い杉の根が朽ちて地盤が沈下し、倒壊のおそれがあるので改修工事を行うこととなりました。

施工は㈱森開発に依頼、鳥居の解体・組立工事は㈲松尾石塔店が行うことになりました。お正月までは工事を完了することとなります。

■編集後記 ■

九月末に外海町大中尾棚田で稲刈りの祭り「抜穂祭」を行つた▼大中尾は全国の棚田一〇〇選に選ばれており、景観も素晴らしいが水路を流れる水はきれいで、水量も豊富です▼十一月二十三日の新嘗祭には支部管内の神社に初穂として奉納されます